

第4回(12月)定例会(12/3~12/10)

あらまし

令和3年12月3日~12月10日の9日間の会期で開催され、条例4件、予算8件が提出され、全て可決されました。また、最終日に補正予算1件が追加提出され全て可決されました。12月3日初日に、議員提出議案第7号を提出し賛成全員で可決されました。

主な議案をお知らせします

●議案第83号 学校給食費条例 → 新しく制定された条例です。

令和3年度に児童手当からの学校給食費の納入を開始し、保護者の利便性向上、教職員の業務負担軽減等に向け、完全公会計化移行を段階的に推進しており、令和4年4月からは学校給食費の徴収・管理業務を原則学校等を介さず町が管理する完全公会計化に移行します。口座振替の場合、移行前は取扱金融機関がJA1つでありましたが、公会計化後は町税等と同様町内6つの金融機関に拡大することになりました。

●議案第91号 令和3年度一般会計補正予算(第6号) 1億2,976万2千円増の86億404万4千円 【主な歳入】 【主な歳出】

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| ①個人住民税の増 | ①旧江戸鮎建物解体設計業務の経費(新庁舎建設へ向けて) |
| ②不動産売り払い収入の増 | ②きゅうり農家のパイプハウスとかん水設備の整備(県補助金活用) |
| ③ふるさと納税寄付金の増 | ③会津西部斎苑管理運営業務にかかる委託料 |

~最終日追加議案として提出~

●議案第94号 令和3年度一般会計補正予算(第7号) 1億331万3千円増の87億735万7千円

11月19日の国の閣議決定により、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の一つとして、国の予備費を活用し、「子育て世帯等臨時特別支援事業」の先行給付を実施することが示されたことに対応する補正予算です。

今回の先行給付は、児童手当の仕組みを利用し、児童を養育している者の年収が960万円未満の世帯の、中学生以下の子供1人当たり、5万円を1,984人に現金給付するものです。

議員提出議案第7号

会津坂下町議会会議規則の一部を改正する規則

議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から、産前産後の欠席期間を規定するものです。

また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求められている押印の義務づけを見直し、署名または記名押印に改めるための一部改正をしました。

第3回定例会より 継続審査中の請願審査結果

請願第5号 【結果：趣旨採択】

国に対し「国民投票法の一部を改正する法律の附則に規定された事項と憲法を取り巻く議論を同時並行で進め、活発な憲法論議を行うことを強く求める意見書」の提出を求める請願

【経過 総務産業建設常任委員会開催日】

- ①令和3年9月8日 ②令和3年11月19日
③令和3年12月8日

【主な意見】

「国会構成も改められ、憲法論議が進められる見通しも出てきた」、「憲法論議を進めることに賛同するが、請願内容は広範囲で焦点が明確ではない」など



一般質問

8人の
議員が登壇

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。一人当たりの持ち時間は答弁を含めて50分です。掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴特別委員会が校正したものです。議事録は、議会のホームページのほか、ユーチューブでもご覧いただけます。

町の考えを問う

五十嵐一夫 議員（8ページ）

1. 新年度予算を編成するに、公約実現への取り組みを問う。
2. 公衆トイレが新装しましたが、既設のトイレを含め維持管理について伺う。
3. 新厚生病院移転に伴っての公共交通と南幹線交差点の信号について。
4. 町長公約実現のため、健康づくり、産業振興、地域づくりをブレンドしての「坂下中央公園」「ばんげひがし公園」の整備と南幹線ウォーキング支援への提案。

蓮沼文明 議員（8ページ）

1. 町営の総合体育館建設の必要性について。
2. 冬期間の町道等に係る除雪対策事業について。
3. 旧坂下厚生総合病院の跡地利活用について。

横山智代 議員（9ページ）

1. 福祉行政について。
2. 気候危機問題について。

山口 享 議員（9ページ）

1. 町長の政治姿勢について。
2. 新型コロナウイルス感染症対策について。
3. 教育行政について。
4. 町地域の活性化について。

小畑博司 議員（10ページ）

1. 町民の危機にどう対応するのか。
2. 農業を柱としたまちづくりはどのように考えているか。

佐藤宗太 議員（10ページ）

1. 町政について。

渡部正司 議員（11ページ）

1. 町の保育料改定の方針（素案）にみる町の「受益者負担」の考え方について。

目黒克博 議員（11ページ）

1. 自主防災について。



五十嵐一夫 議員

公約実現への取り組みを問う ら 庁舎案内窓口を設置、丁寧な接客か

問 職員の意識改革、どのように取り組んでいくのか。

答 庁舎1階フロアに案内窓口を取り組みの一つとして設置しました。職員コミュニケーションの能力向上に結び付け、職員が直接町民と対応することが、町民の立場に立った新たな気づきにもつながります。

問 公約の4つの大きな柱について。

答 「新しいまちづくりの推進」年度内に「地域づくり懇談会」を開催し、町民の声を聴きます。「人づくり・少子化対策支援」「交流・定住策」が重要と位置づけ「過疎対策」に取り組みなければならぬと認識しています。

健康づくり 各地区で気軽にできるウォーキングコースの整備に向け、モデルコースを選定しています。

「産業のさらなる振興」 特に建設業界は人手不足が大きな課題であり、支援策として企業説明会や企業現地見学会を開催していきます。

バス乗車率向上の取り組み

乗車すると割引券が使える

問 路線バスが新厚生病院の玄関前まで乗り入れたことによる、乗車率向上の取り組みがなされているのか。

答 病院内ホールにバス運行状況を一目でわかるディスプレイを設置していただきました。

12月1日より若松・坂下線ではバスを乗車利用すると「道の駅あいづ」で使用できる割引券をもらい、割引利用を受けられます。新厚生病院でもバス利用者は、病院内のコンビニでの同様の取り組みを考えています。



厚生病院玄関前がバス停

問 新装なった立木観音と坂下駅のトイレの維持管理について。

問 「坂下中央公園」「ばんげひがし公園」の整備と、南幹線ウォーキング支援への提案。



蓮沼文明 議員

町営の「総合体育館」建設は必要です！ 現在、具体的な検討には至っていません

問 若者世代のスポーツの振興及び全町民の健康増進を図っていく環境整備の面から町営の「総合体育館」建設は必要であると考えますが、町の見解を問う。

答 町民体育館が平成30年11月に老朽化により取り壊しとなつて以降、町営の「総合体育館」建設については、現在まで具体的な検討には至っておりません。町の社会体育施設は老朽化しておりますが、今ある複数の社会体育施設を有効に活用しながら、また公共施設修繕計画を基に計画的に修繕し長寿命化を図りながら、利用する方々の利便性と安全性の確保に努めてまいります。

問 旧坂下厚生病院跡地の跡地活用は？

答 町としては、有効な活用方法を福島県厚生連に提案及び要望してまいります。

問 病院跡地の利活用については、将来の我が町を見据え、魅力ある町として若者世代の本町への移住と定住、人口増加に結びつく施策に是非を問う。

問 これも質問

問 町道除雪作業において、地元区長等からの要望や除雪作業職員からの意見等をどのように集約且つ検証し、次年度の除雪対策作業に反映させているのかを問う。



旧町民体育館



横山智代 議員

使いづらいごみ袋の質は変えられないのか
町民の方の認識もあるので継続します

問 裂けやすく使いづらいごみ袋の質を変えることはできないのか。

答 ごみ袋は現在、可燃・不燃のごみ袋ともに40ℓ・20ℓ・10ℓの3種類とおむつ専用の袋があります。可燃用袋は中味が見えにくく、引っ張る強さに優れています。穴が開くと縦に裂けやすい欠点があります。不燃用袋は可燃用より引っ張る強さは弱いが伸びやすいので裂けにくい利点があります。透明度が高いため中身が見えやすくなります。可燃用を不燃用と同じ材質に変えれば裂けにくくはなりません。個人情報が目に見えやすくなります。個人情報保護上好ましくないと考えられます。また、引っ張る強さが弱くなってしまうことから袋の厚さを厚くする必要がありますが、ごみ袋については一短ありますが、町民の方の認識もあるため、現在のごみ袋を継続していきたいと考えております。

ごみ排出量を減らす策は
ごみ減量化・再資源化に取り組んでおります

問 町民とともにごみの量を減らすための考えを伺う。

答 現在、各団体による資源回収への報奨金を令和2年度には1kgあたり前年より1円増加の5円を交付しております。また、コンポスト、EMバケツ、電動式生ごみ処理機などに補助金を交付しております。各種リサイクルは本年度、小型家電・古着類、金属製品などの回収を実施しました。町民の方々への啓発事業として高齢者サロンや小学校への出前講座や、町ホームページや広報等を利用して、ごみの減量化・再資源化について広く町民の方々に推進してまいります。



なかなか減らないゴミの量！



山口 享 議員

町長の政治姿勢について
公約である「新しいまちづくりの推進」「人づくり少子化対策」「健康づくり」「産業のさらなる振興」に着手いたします

問 就任6ヶ月となり自己評価を示せ。

答 公約を実現する事業に着手するとともに、引き続き、町民の皆様のご意見を賜りながら、町政運営に努めてまいります。

問 これも質問
 和泉地区におけるバイオマス発電所計画について。

問 選挙期間中又就任時「若者の声を聞く」と公約されていたが、どのように実施できたか示せ。

答 これからのまちづくりには、次代を担う若者たちが、中心となつて活躍することが必要であります。具体的な取り組みとしては、「若者による地域づくり推進事業」を会津坂下青年会議所に委託し、高校生によるまちづくり活動の実践を支援しております。SNSによるまちの魅力発信や地元食材を使ったメニューの開発、通学路等の清掃活動、会津坂下町公衆トイレのデザイン検討などを実施しております。また、会津農林高等学校の生徒が小中学生の農業体験学習の講師となる小中高の連携につきましても実現に向けた協議を進めてまいります。



庁舎案内窓口で対応する職員 何でも聞いて下さい。

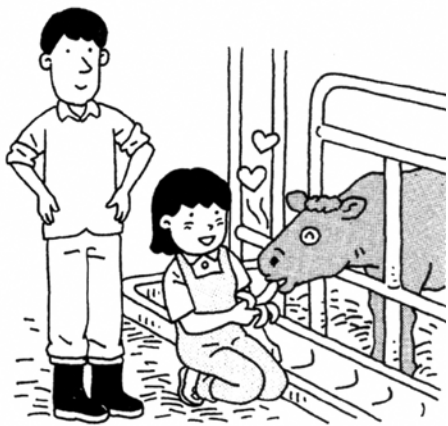


小畑博司 議員

**町民の危機に、どう対応するのか
関係機関と連携し、適切な支援を
してまいります**

問 コロナ禍で職を失い、収入の道を絶たれ、住む場所を失うなど、苦境に立たされている方々を把握し、しっかり手を差し伸べているでしょうか。

答 これまで、緊急小口資金の特例貸付が227名、住宅確保給付金が5名、特例貸付の限界を超えた方への自立支援金が1名の実績であります。国、県の新たな支援策を早急にお知らせすることは当然ですが、状況によつては、生活保護の一時的な活用も検討しながら関係機関と連携し適切な支援をしてまいります。



小農は人類を救う

**農業を柱としたまちづくりはいかに
農業の振興と活性化こそ魅力ある
まちづくりに必要な不可欠です**

問 少子高齢化のなかで耕作放棄地の発生拡大が危惧されております。これらへの歯止めや、町の活性化策として優良な農地を生かしたまちづくりは有望だと思えますが、どのように考えているか。

答 農業の衰退は、地域経済の衰退に直結する大きな課題であり、農業の振興と活性化こそが地域経済の活性化、活力と魅力あるまちづくりに必要不可欠であると認識しております。農業を生業とし、誇りと意欲を持っている農業者一人ひとりに寄り添い、農業経営の安定や発展のために必要な支援を、国・県等の施策をフル活用しながら重点的に取組んでまいります。



佐藤宗太 議員

**景観条例制定の考え方は
景観条例制定の考え方は
性急な制定は難しいと考えており
ます**

問 未来に向けた会津坂下町の地域の特徴や個性を生かした良好な景観を形成するための景観条例制定の考え方は。

答 景観法施行後に多くの自治体で景観条例が制定されておりますが、本町では景観条例の制定はされておりません。景観法に基づく同様の事例として、塔寺・気多宮地区において、「街なみ環境整備事業」に取り組んだ経過があります。景観条例による地域の特徴や個性を生かした景観形成への効果は期待できますが、各地区の文化や歴史的背景を踏まえた計画づくりと、景観形成への地域の方のご理解とご協力が重要かつ不可欠であり、性急な制定は難しいと考えております。

問 新庁舎建設場所について建設場所の見直しを示唆する公約を謳っていたが、今後の見直しは。

答 平成30年第1回定例議会において「現本庁舎・北庁舎・東分庁舎及び東駐車場用地」とする議決をいただいております。今年度中に建設スケジュールをお示しすることとし、令和4



秋祭り神輿御渡



渡部正司 議員

なぜ保育料改定するのか 保育料の適正化と公正化を図りたい

問 保育料の受益者負担・公平性についてどのように考えているか。

答 家庭保育をしている人との公平性に欠くとの意見もあったことから、通常保育料の受益者負担については国基準額に対する徴収割合を、保護者と町が等分となる50%を基本としたいと考えています（現在は保護者が約30%を負担）。

答 保護者の子育てに関する経済的な不安が大きくなってきていることから、負担を軽減する様々な支援が求められている現状と、適正な一定の負担も必要との公正化を求める声が多くなっている現状と課題を踏まえ、保育料の適正化と公正化を図るとしたものです。今後より多くの方から納得が得られる保育料の改定となるよう進めて参ります。全ての子育て家庭への支援の必要性を再認識し、町全体の子育て支援の充実につなげていきたいと考えております。

問 1.5倍の値上げになる。保育料の公正化をどのように考えているか。

答 公正な保育料は、国基準額であり、町で独自に国基準額を下回る保育料を定める場合に公正化を図るには、算定の透明性の確保と近隣市町村の保育料など地域の実状を踏まえ、より多くの方から納得が得られる保育料の算定であるべきと考えます。

問 子育て支援の全般から見た保育料の改定の持つ意味は何か。子育て支援全体を見ることがおろそかではないか。



ばんげ保育所のクリスマスツリー飾り付け



目黒克博 議員

避難所における多様性への配慮は 多様な方の避難及び抱える困難と支援ニーズに対応できるよう、防災への取り組みを推進してまいります

問 災害種類による地域住民への避難及び避難所への配慮は。

答 避難所には障がい者、妊産婦、外国人など多様な方が避難することになり、考え方や求めるものが異なります。また抱える困難と支援ニーズは男性と女性でも異なると認識しております。災害に強い地域社会を作るため町地域防災計画の改定に併せ、多様な方の避難及び抱える困難と支援ニーズに対応できるよう、防災への取り組みを推進してまいります。

問 これも質問
消防の防災対策と避難行動について、災害時による消防団との連携は。

問 本町において災害ボランティアの受入体制は整っているのか。

答 効果的なボランティア活動が行われるために、災害対策本部の中にボランティア活動に関する情報提供の窓口を設置し、災害に関してどの分野でどのようなニーズがあるのか、またどのような専門的知識、技能を持ったボランティアがいるかを把握し、社会福祉協議会や赤十字奉仕団などのボランティア団体と連携し、情報提供共有しながら、受入体制の整備に対応してまいります。



日頃から目のつくところに置きましょう。